



ちなみに、歯髄由来の幹細胞のみならず、骨髄・脂肪由来の幹細胞でも量的に差はあるが質的には同様の歯髄が再生されるとのことです。

施術の1例ですが、露髄部分を止血後、窩洞に対して1液性ボンディング処理を行います。その後、ボンディング剤のアプリータを用いて露髄面に微量の幹細胞培養上清を貼付し、その後必要に応じて覆罩剤で裏層、光重合型レジンで充填（ここは各先生方で、ガラスイオノマーを使う場合もあれば、カルボキシレートセメントを使う場合もあるかと思います）します。

臨床症状の消失確認を行い、数か月後にレントゲンを撮って、二次象牙質の形成を確認したら最終修復という感じになるかなと思います。

保険点数との兼ね合いもありますし、臨床経験上、「露髄=抜髄」とされる先生方も多いと思いますが、保存科出身の私としては、あの手この手で歯髄保護をしてみようかなと。

まあ今回は、幹細胞培養上清サイトカイン製剤は、実は幹細胞そのものと同様な組織再生誘導能力があるという事で、お話のまとめにさせていただければと思います。幹細胞そのものを使うよりも、コスト的にも制度的にも格段に使いやすいかと思います。

【ヒト幹細胞由来サイトカイン院内製剤「オーラルステムジェル原末」無料説明会】

\* こんな先生方のために

- ・ PRP のような採血や遠心分離といったハードルはちょっと高い。
- ・ 既存の方法では、コスト面で採算が取れない。
- ・ せめてペリオクリン程度の原価で再生医療が提供できればよいのに。

\* セミナー内容

- ・ 歯周組織再生誘導とサイトカインのエビデンス。
- ・ 院内製剤の基材となるヒアルロン酸の歯周組織再生誘導に対するエビデンス。
- ・ 院内製剤原末のご紹介と臨床応用例。
- ・ 従来製品を使った場合との原価シミュレーション。

\* 下記からお申込み下さいませ。

<http://www.aimmember.com/shopdetail/00000000128>

再掲になりますが、しばらくこのメルマガやFBのグループページでご紹介してまいりました「オーラルステムジェル原末」の特徴としては下記になります。

①原末の状態でお届けするものであり、院内製剤として先生に最終的な調合（溶媒を入れて混ぜるだけ）していただく。

\* 溶媒は、別途薬剤問屋から関節用ヒアルロン酸（例：ヒアロス）をご購入下さい（通常の薬剤問屋で入手可能です）。

\* 1本 600円程度 10本入りですが、1本から10回分以上製剤できますので、1回あたりの部分原価は60円程度になります。

\* ヒアロスはお取引の薬剤問屋で入手可能ですが、入手困難な場合は、下記から通販で入手できますのでお問い合わせくださいませ。

<http://www.breeze-jpn.com/010iyaku.html>

②原末なのでコストが安い（ポカリのペットボトル製品と、粉を買って水を混ぜる場合とでのコスト計算の比較が例えとしてはわかりやすいかと思います）。

③先生の方で原価を調製できる（まとめて作って分注しますので、原価を500円から1000円の範囲で調整できます）。

④ヒト幹細胞の培養上清サイトカインを使用しているため、多種多様な成長因子が複合的に含まれている。

価格は、1バイアルあたり10,800円（お試し価格：今後改定予定です）で、1バイアルから10回～20回分調製できます。作り方の参考例は、ご購入の際に同封させていただきます。バイアルのままでしたら、常温でも冷蔵・冷凍でも1年以上保存できます。

調製後は冷蔵保存して1～2週間程度で使ってください。

使用方法は

①歯周ポケットへの挿入（ペリオクリンの要領：合計で0.1～0.2ml程度）

②抜歯窩にスポンゼル等にドレッシングして挿入（1回0.1ml程度）

③人工骨と混和してGBR等に使用（1回0.1～0.2ml程度）

など、多彩な使用方法があります。

化学合成品ではないため、オーダーメイドとなりますので、お届けに1週間程度



| 編 | 集 | 幹細胞培養上清サイトカインは、多種多様な成長因子を含みます。

| — | — | 本来、成長因子というのは複合的に働いているものです。

| 後 | 記 | したがって、オーラルステムジェルは理想的な再生材といえるでしょう。

| — | — | また次回のメルマガをお楽しみに。

○●○●■□■□140-0001

●○●○■□■□東京都品川区北品川 1-9-7-1015

○●○●■□■□一般社団法人日本美容歯科医療協会

●○●○■□■□03-5843-3615